

会社情報 (2021年12月31日現在)

会社名	株式会社ソディック	資本金	246億18百万円
所在地	本社 〒224-8522 横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号 TEL:045-942-3111(代表)	代表者	古川 健一
設立	1976年8月3日	従業員数	924人(連結3,683人)
		連結子会社	21社
		持分法適用の関連会社	1社

役員 (2022年3月30日現在)

代表取締役社長	ふるかわ 古川 健一	社外取締役	のなみ 野波 健蔵*
専務取締役	つかもと 塚本 英樹	社外取締役	ごとう 後藤 芳一*
常務取締役	まえしま 前島 裕史	常勤監査役	ほさか 保坂 昭夫
取締役	かねこ 金子 雄二	常勤監査役	わたぬき 渡貫 雄一
取締役	たかぎ 高木 圭介	社外監査役	しもじょう 下條 正浩*
取締役	ファン ジンファ 黄 錦華	社外監査役	ながしま 長嶋 隆
社外取締役	いなさき 稲崎 一郎*	社外監査役	おおたま 大滝 真理*
社外取締役	くどう 工藤 和直*		

*東京証券取引所の定める独立役員であります。

ソディック ホームページ 「IR情報」のご案内

株主・投資家様向けの情報を
開示しています。ぜひご覧ください。

<https://www.sodick.co.jp/ir/>

コーポレートサイト



IRサイト



株式会社 ソディック

〒224-8522
横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号
TEL:045-942-3111



Sodick

Sodick Times

2021年12月期(第46期)事業報告書
2021年1月1日～2021年12月31日

Special
Feature

セグメント別の概況

株式会社 ソディック

東証1部:6143

ソディックとお客様の 持続的な成長を目指し 企業変革プロジェクトと 健康経営を推進します

代表取締役社長

古川 健一



回復基調が継続し増収増益を達成

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

長期経営計画『Next Stage 2026 ~Toward Further Growth~』の3年目となった2021年12月期の売上高は、751億74百万円。営業利益は68億13百万円。経常利益は85億88百万円。親会社株主に帰属する当期純利益は、65億91百万円と、前期比で増収増益となりました。

新型コロナウイルスの感染再拡大や地政学的リスク等、先行き不透明な状況もありますが、EVや5Gの普及等、ものづくりの高度化は加速していくと想定しております。

当社としても、「お客様のものづくりを支える」という使命のもと世の中の変化を的確にとらえ、スピード感をもって対応してまいります。

配当金につきましては、DOE2.0%以上を目指す方針に基づき、2021年12月期の年間配当は、26円といたしました。また、2022年12月期は1円増配の年間27円を予定しております。

企業変革始動

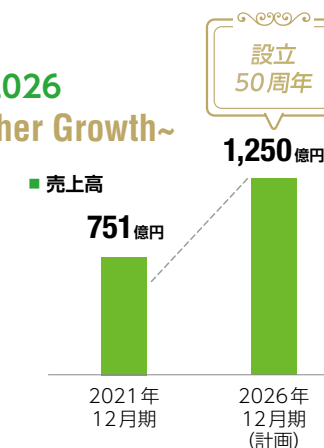
近年、デジタルトランスフォーメーション (DX)、通信技術の革新、グローバル化の新潮流、SDGsの流れの加速等、ものづくりの在り方そのものが大きく変化しております。そのような事業環境でもお客様のものづくりを支え、持続的な成長をするためにはソディックの“企業変革”が必要であると考え、2020年10月より変革プロジェクトを立ち上げ、企業変革を検討してまいりました。そして2022年1月より、機能別組織から事業別組織へ体制を移行しました。本移行により各事業部が事業全体の権限・責任をもつことで、事業最適かつ迅速な業務執行が可能となります。また、従来の機能別組織においては困難であった、開発、製造、販売、サービスを一気通貫したトータルソリューションとして提供することで、ビジネスをより一層加速してまいります。

また、DXの本格化に伴い、ステークホルダーの皆様との関係性も、大きく変わっております。当社としましては、リモートツールによる保守サービス、デジタルマーケティング、お客様専用ポータルサイトを用いたアフターサービスの強化等、DXの需要の高まりは事業拡大の好機ととらえ、デジタル技術を活用したソリューションの開発・提供に努めてまいります。

長期経営計画概要

Next Stage 2026 ~Toward Further Growth~

自動車産業の変革、IoT・AI技術の進化、5Gの普及、新興国におけるものづくりの高度化をはじめ、当社を取り巻く国際的な環境の変化に柔軟に対応しながら、持続的な成長を目指します。



従業員の健康と会社の持続的な成長を両立

最後になりましたが、当社は、従業員の健康が会社にとって最も大切な財産であり、未来へ向けた新たな価値創造の源泉と考えています。従業員一人ひとりが心身ともに健康で、さらなる成長へのチャレンジが続けられるよう、従業員の健康と会社の持続的な成長を両立させる健康経営を目指しています。これを『ソディック健康経営宣言』として掲げ、待遇面の改善、教育環境および職場環境の整備を進め、これまで以上に人を大切にす経営を実践してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

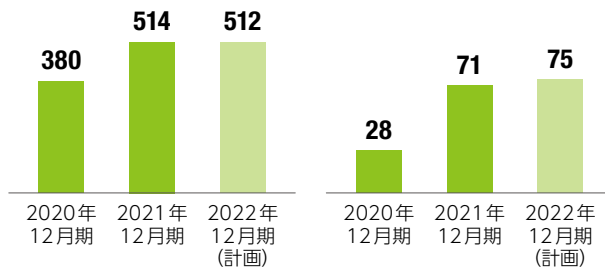
工作機械事業



世界首位級のシェアをもつ放電加工機をはじめ、精密マシニングセンタや金属3Dプリンタなど幅広いラインナップの製品を提供しています

売上高

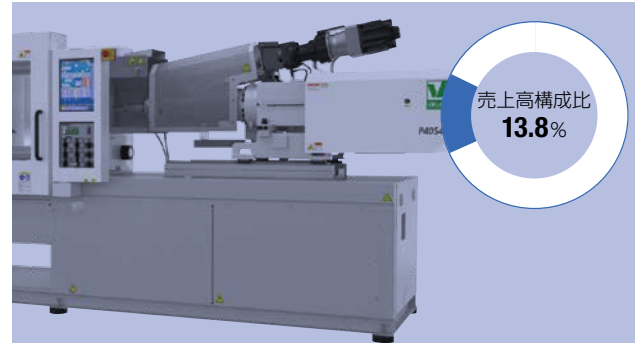
セグメント利益



2021年12月期は中華圏における自動車や電子部品、5G関連、半導体関連分野での需要拡大のほか、日本及び欧米、アジアにおける需要の持ち直しの動きが継続した結果、売上高は前年同期比で増加しました。

2022年12月期は、ものづくりの高度化に伴う高精度機の需要の増加が見込まれますが、中華圏での需要については堅調ではあるものの非常に好調であった2021年12月期ほどの受注は見込んでおらず、売上高は微減となる見通しです。

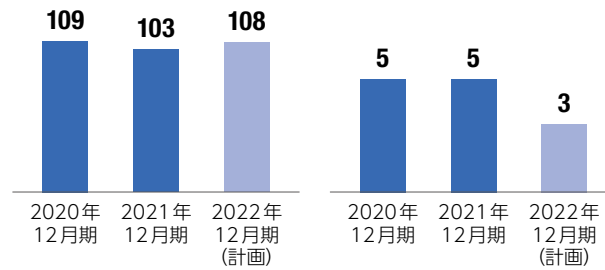
産業機械事業



プラスチックなどの資源の有効活用と環境へ配慮した射出成形機の製造販売を手掛けています

売上高

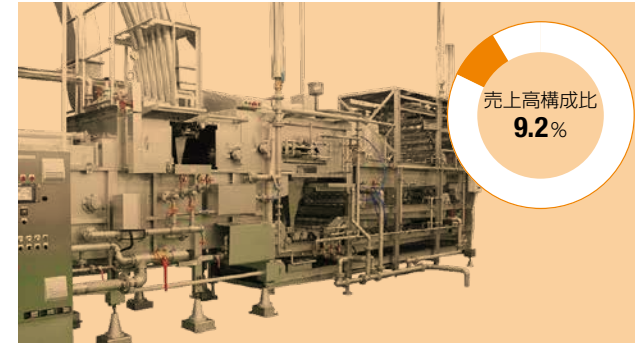
セグメント利益



2021年12月期は北米の医療関係は好調が継続したほか、日本でも自動車・電子部品向けの販売が増加しました。一方で、前期に好調であった中華圏におけるレンズ向けの販売に一服感が見られ、売上高は前年同期比で減少しました。

2022年12月期は、自動車・電子部品向けを中心に日本及び中華圏で需要が堅調となるほか、医療関係向けについては北米及び中華圏においても需要が見込まれますが、中国新工場での生産開始に伴う一時的なコスト増により増収減益の見通しです。

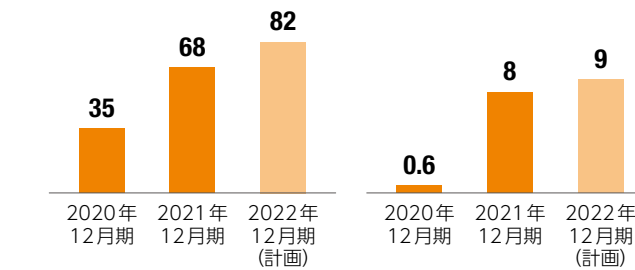
食品機械事業



各種製麺機、麺製造プラント、無菌包装米飯製造装置などの開発・製造・販売、その保守サービスを行っています

売上高

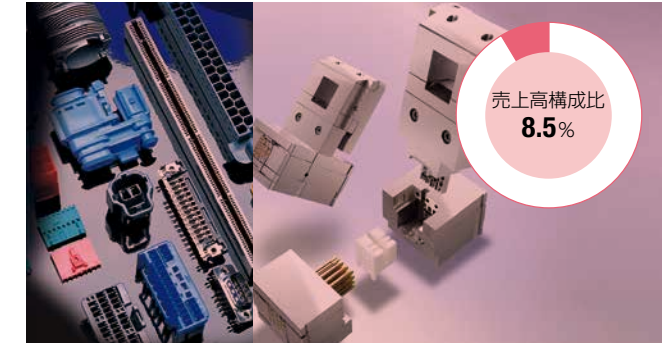
セグメント利益



2021年12月期は衛生面及び省人化対応設備や外出自粛に伴う巣ごもり需要に関連した案件が継続したほか、海外においても製麺機や米飯製造装置の販売があった結果、売上高は前年同期比で増加しました。

2022年12月期は、日本での衛生面及び省人化対応設備に関連した案件に加え、中華圏及びアジア等の海外市場において生麺、冷凍麺及び米飯製造装置の需要が伸長する見通しです。

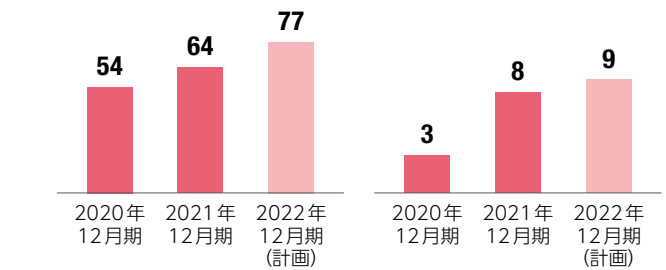
その他事業



精密コネクタなどの受託生産を行う金型成形事業、リニアモータやセラミックス部材の販売等を行う要素技術事業から構成されています

売上高

セグメント利益



2021年12月期は情報通信設備等の需要増によるセラミックスの需要増のほか、金型成形事業においては半導体不足により自動車産業全体の需要は減速しているものの、生産品目の拡大等もあり、売上高は前年同期比で増加しました。2022年12月期は、セラミックスの需要が引き続き堅調に推移するほか、金型成形事業においても成形アイテムの拡充を見込んでおり販売が拡大する見通しです。

新製品



長時間高速安定造形に対応した 金属3Dプリンタ「LPM325S」の販売開始

新製品「LPM325S」は、造形精度・造形速度といった従来から求められてきた要件の性能向上に加え、製造現場において極めて重要となる「運用性の向上」「メンテナンス頻度の削減」「トラブル発生の未然防止と低減」に対して、大幅な機能強化を図ることで、さらなる長時間高速安定造形を実現。現場における生産性向上の鍵となる稼働率アップに大きく貢献します。

また、本製品は日刊工業新聞社主催の「2021年(第64回)十大新製品賞本賞」を受賞しました。昨年の細穴放電加工機「K4HL」に続き4年連続の受賞となります。

今回の受賞を励みに、今後もよりよい製品の開発に邁進してまいります。



第64回
十大新製品賞
本賞

大幅な機能強化で、さらなる長時間高速安定造形を実現した「LPM325S」



射出成形システム「INFILT-V®」が“超”モノづくり部品大賞 「環境・資源・エネルギー関連部品賞」を受賞

モノづくり日本会議と日刊工業新聞社が主催する“超”モノづくり部品大賞において、当社の不活性ガス溶解射出成形システム「INFILT-V®」が、環境・資源・エネルギー関連部品賞を受賞しました。

今回の受賞は、成形が困難であった生分解性プラスチック*でも薄肉で深物の成形加工を可能にしたことが評価されたものです。

今後も、環境配慮型製品の開発に取り組んでまいります。

*生分解性プラスチックは、自然界に存在する微生物の働きで、最終的に水と二酸化炭素に分解され自然界へと循環する環境にやさしいプラスチックです。



第18回
“超”モノづくり部品大賞
環境・資源・エネルギー
関連部品賞

環境にやさしい生分解性プラスチックに対応した射出成形システム「INFILT-V®」

リアル会場での展示会が再開

コロナ禍において、大規模イベントの開催が制限されていましたが、十分な感染予防対策を講じたうえで、徐々にリアルな会場での展示会も再開されてきています。当社は9月と10月に開催された「名古屋プラスチック工業展 2021」「メカトロテックジャパン 2021」に出展しました。両展示会とも、機械の実演などリアルならではのプロモーションを行い、多くのお客様に当社製品の性能をアピールすることができました。

名古屋プラスチック工業展 2021 概要

会期：2021年9月29日～10月1日(3日間)
来場者数：10,036人
出展機種：V-LINE® 堅型ロータリ式 射出成形機「TR40VRE2」、
V-LINE® 電動射出成形機「MS100」「MS150」、
IoTシステム関連など



メカトロテックジャパン 2021 概要

会期：2021年10月20日～23日(4日間)
来場者数：68,929人
出展機種：ワイヤ放電加工機「ALN600G iGE」(初出展)、
形彫り放電加工機「AL40G」、
金属3Dプリンタ「LPM325S」など



Sodick Lounge

ソディック
ラウンジ

当社をよりよく知っていただくために、当社の取り組みや特徴的な数値などについてご紹介します。

シェアードリサーチ社による レポートカバー開始

株主・投資家の皆様に、より有益な情報を発信するため、シェアードリサーチ社によるレポートカバーが開始されました。事業概要をはじめ、事業・マーケット戦略、強み、収益構造、業界動向など、多彩な情報が投資家目線でまとめられていますので、ぜひご覧ください。

レポートはこちらから
ご覧いただけます▶

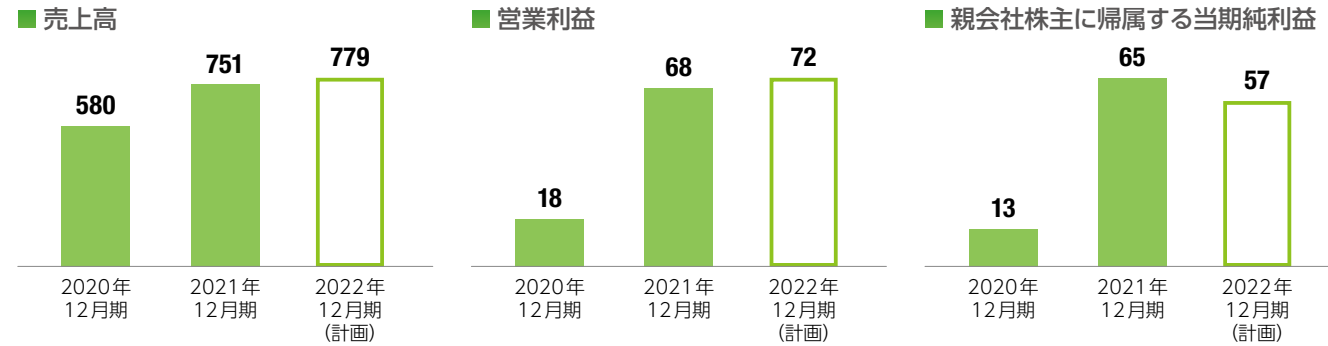


業績・財務ハイライト

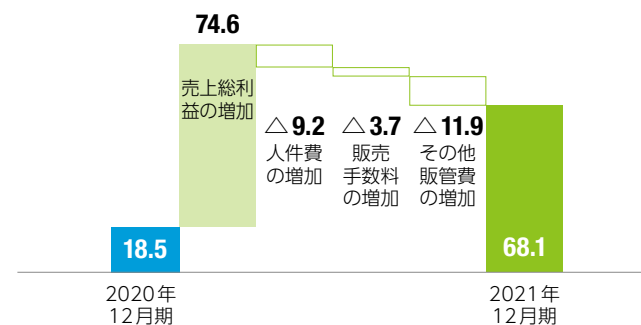
当期の業績について

中華圏での放電加工機の販売増加が全体を牽引したこと、日本、欧米、アジアでも売上が回復したことにより、通期予想を上回り前期比増収となりました。営業利益は、生産台数の増加に伴い、工場での収益性が改善したことにより、大幅増益となりました。

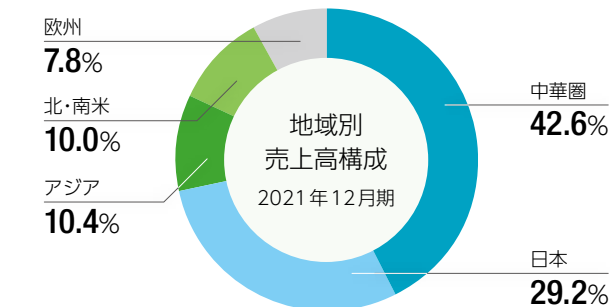
連結損益計算書の概要 (単位:億円)



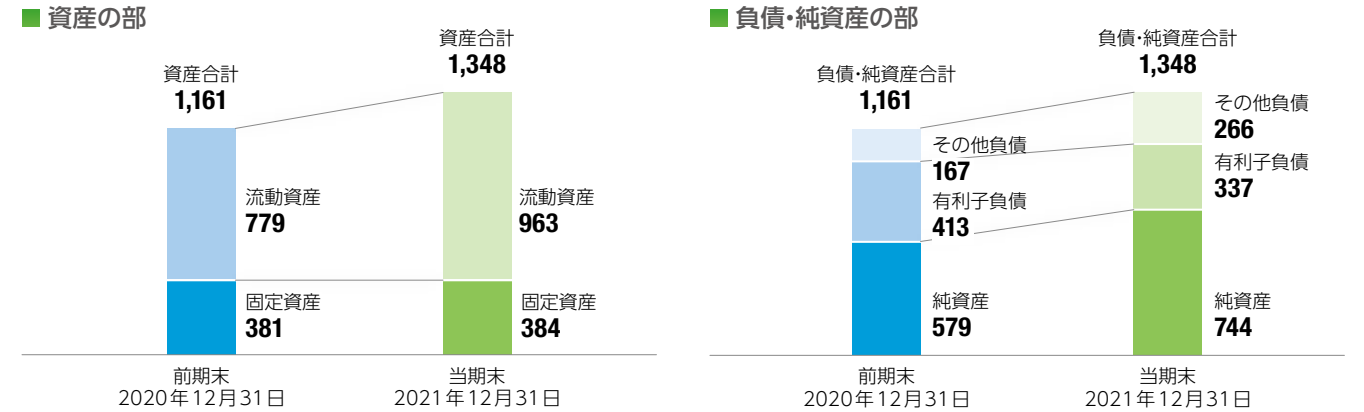
営業利益変動要因



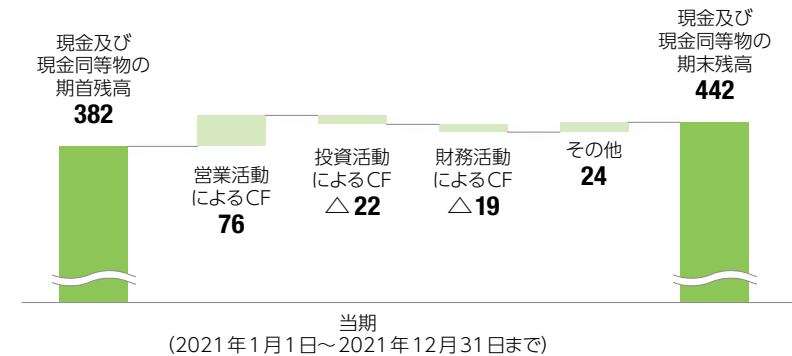
地域別の売上高構成



連結貸借対照表の概要 (単位:億円)



連結キャッシュ・フロー(CF)計算書の概要 (単位:億円)



POINT B/S: 資産は、現金及び預金、受取手形及び売掛金、原材料及び貯蔵品、仕掛品の増加などにより1,348億66百万円(前期末比187億49百万円増加)となりました。

POINT C/F: 営業CFは、主に税金等調整前当期純利益と仕入債務の増加により76億42百万円のプラス。投資CFは、有形固定資産の取得により22億3百万円のマイナス。財務CFは、主に長期借入金の返済と配当金の支払いにより19億32百万円のマイナス。現金及び現金同等物の期末残高は442億29百万円(前期末比59億73百万円増加)となりました。

IRサイトでさらに詳しく

IRサイトでは、決算短信、決算説明資料など更に詳しい決算情報をご覧になれます
https://www.sodick.co.jp/ir/ir_note.html

ソディックIR 検索

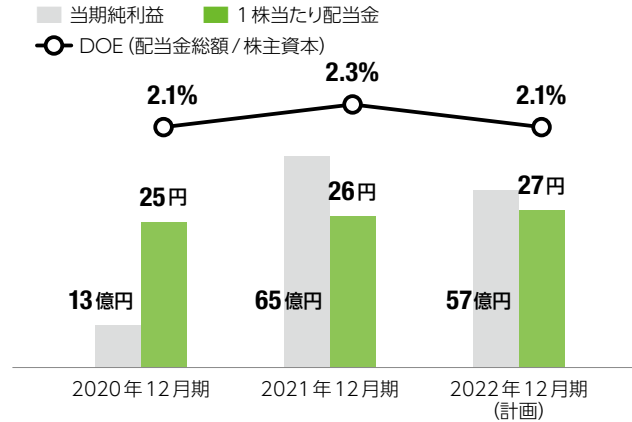


配当方針

当社では、株主還元の状態を示す指標として株主資本を基準にしたDOE(株主資本配当率)を採用しています。

持続的な成長のための研究開発や設備投資に必要な内部留保を確保しつつ、事業特性からくる業績の変動を鑑み、安定かつ継続的な配当を実施するため、DOE2.0%以上を目標として考えています。

2021年12月期の年間配当金は、1株当たり26円(前期比1円増配)とさせていただきます。なお、2022年12月期は1円増配の年間配当27円を計画しています。



資本政策(自己株式取得・消却の実施)

株主還元の強化及び経営環境の変化に対応した機動的資本政策により、株式価値の向上を図るため、自己株式の取得及び消却を行いました。当社はDOE2.0%以上かつ総還元性向*30%以上を目標とする株主還元を方針とし、今後も、目まぐるしく変化する経営環境に対し、株式価値向上に向けた機動的な資本政策を実施してまいります。

*総還元性向とは、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当額と自己株式取得の合計額の比率を表します。

取得の概要

	2021年11月12日取締役会における決議内容	取得結果
取得株式総数	500,000株(上限)	500,000株 (消却前発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 0.91%)
取得価額の総額	500,000,000円(上限)	411,356,400円
取得期間	2021年11月15日～2021年12月15日	

消却の概要

消却株式総数	500,000株
消却日	2021年12月28日

株式情報 (2021年12月31日現在)

株式情報

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式総数	58,292,239株
株主数	13,821名

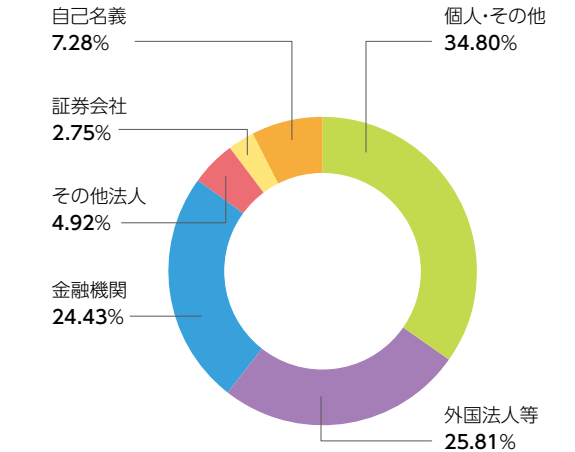
大株主

株主名	名寄株式数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,216,100	10.66
株式会社ソディック	4,246,368	7.28
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,705,000	4.64
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	2,227,400	3.82
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	1,318,800	2.26
森田 清	1,075,070	1.84
ソディック共栄持株会	948,000	1.63
有限会社ティ・エフ	895,000	1.54
株式会社三井住友銀行	850,000	1.46
BANQUE PICTET AND CIE SA	818,400	1.40

株主メモ

事業年度	1月1日～12月31日
株主確定日	● 定時株主総会、期末配当金:12月31日 ● 中間配当金:6月30日
定時株主総会	毎年3月
公告の方法 (公告掲載URL)	電子公告により行う https://www.sodick.co.jp/ir/ir-f.html ※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。

所有者別株式分布状況



株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
郵便物の送付先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-288-324 (通話料無料)
電話お問合せ先	TEL 0120-288-324 (通話料無料)
特別口座の管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
郵便物の送付先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都府中市日鋼町1-1 新東京郵便局私書箱29号
電話お問合せ先	TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部 証券コード:6143